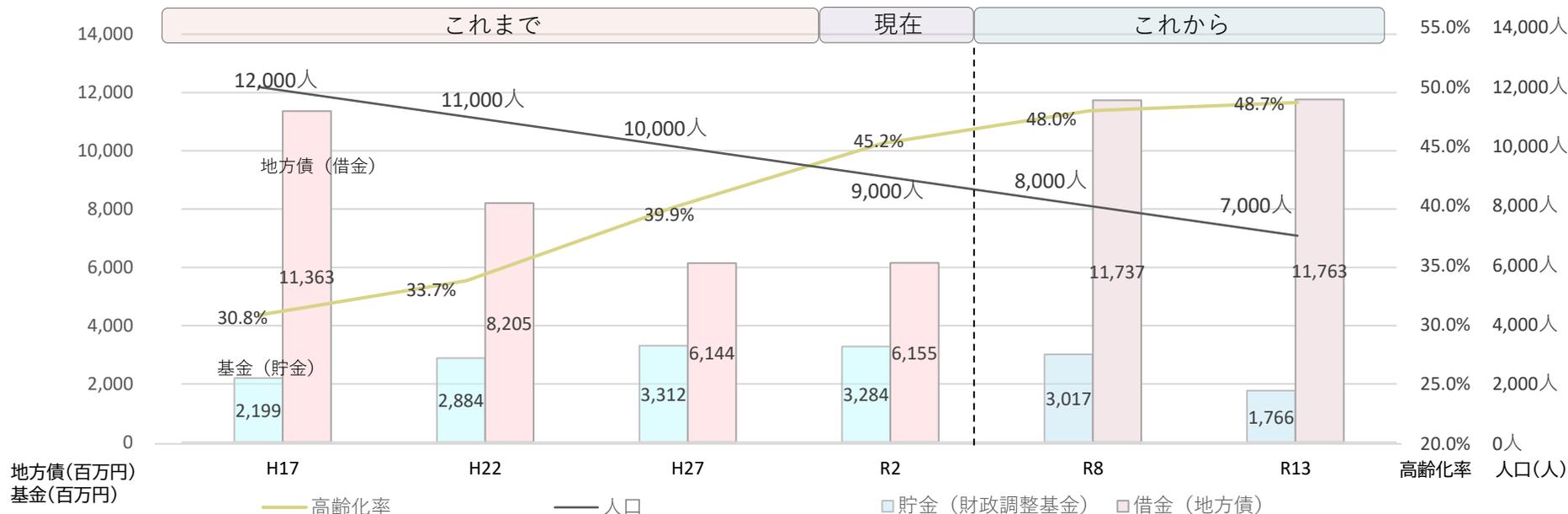


みんなでまちづくり！ 添田町の「人口減・高齢化」と「財政」のはなし

「将来」のこと、「財政」のこと、添田町では「みんなでまちづくり」を合言葉にみなさんと一緒に考えていきます。



(これまで) 人口減・高齢化は進行しているものの**財政は健全化**しています

- 借金(地方債) → 15年前から約45%減少
- 貯金(財政調整基金) → 15年前より約50%増加

(将来の課題) 添田町の財政は改善してきましたが、将来には大きな財政上の**課題**があります

- 人口減・高齢化 → 税収等減、民生費支出増
- 公共施設の老朽化 → 維持管理費増
- 大型事業の財源として借金が増加見込み → 後年度の借金返済額が増加 → 他の支出予算を圧迫

(これから) 「課題」に対する取り組みを行わない場合、人口減・高齢化の進行とあわせて財政状況は**悪化する**見込みです

- 将来の借金 → 10年後には現在から約90%増加する見込み (学校施設整備など計画的な大型事業の影響)
- 将来の貯金 → 10年後には現在から約45%取り崩す見込み (人口減による収入減や公債費などの支出増の影響)

添田町が「**住み続けたいまち**」であるために行財政改革に取り組みます

- 受益者負担を見直すなど自主財源の収入を増やします
- 既存の事業や統廃合による施設の見直しを行い支出を減らします

※ 町のお金については、①町の借金に当たる「地方債」と②町の貯金に当たる「財政調整基金」の面から見ています。また、人口は添田町人口推計より引用し、おおよその数値で表示しています。